

平成27年度 うさみの園 居宅支援事業所

事業報告書

1. 事業運営の概要

- ・平成27年度当初、専任の介護支援専門員3名の体制であったが、内1名が主任介護支援専門員の資格を取得し、特定事業所加算Ⅲの事業所となった。引き続き、在宅介護の相談・支援、ケアマネジメント、認定調査等を行い、地域の皆様に質の高いケアマネジメントが提供できるように技術向上を目指し、研修や事例検討会を行った。
- ・居宅専用公用車2台を使用し、必要時には迅速に対応できる体制をとった。
- ・介護予防プランの委託や、困難事例の対応等の委託に対応し、各地域包括支援センターや行政機関、医療機関との連携も積極的に行った。
- ・伊東市及び他の保険者から委託を受けた介護認定調査を行い、介護支援専門員としての資質向上に努めた。

2. 事業計画の実施状況

(1) 業務の改善

- ・年々、介護と医療機関との連携が必要な利用者が増加傾向にあるため、主治医、MSW、他医療関係者との連携をしっかりと取るようにした。
- ・医療、介護の情報を共有し、利用者の在宅生活がより安全で安心して継続できるように心掛けた。
- ・介護認定相談やみなし利用での対応等も含め、出来るだけ利用者に不利益のないように相談対応を迅速に行う様に心掛けた。
- ・職員については、介護支援専門員の必須研修を始め、自主的に機会を捉えて各研修に参加し自己研鑽に努め、モチベーションのサポートを行った。

(2) 会議・委員会の参加

- ・施設職員として、施設内委員会や行事に参加し、多方面・多職種との意見交換を行った。
- ・市内で介護保険事業者連絡協議会：居宅部会が年4回開催され、積極的に参加した。
- ・伊東市要介護認定審査会委員に1名の介護支援専門員が任命されており、約月1回の会議参加を行った。
- ・地域包括支援センター開催の地域ケア会議に参加し、対応検討を行うよう努めた。

(3) 内部研修

特定事業所として、利用者に対する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を、週に1回程度開催するよう義務付けられており、開催実施した。事例検討や制度改正等の勉強を行い、相互支援、技術向上として活用した。

(4) 外部研修の参加

「伊東市対人援助技術研修」(グループスーパービジョン)の勉強会(主催:高齢者福祉課)が年数回開催され、当事業所より2名が参加した。

(5) 災害対策と事故防止

- ・ 災害対策時は、施設内のマニュアルに沿って行動を行うこととした。
- ・ 事故防止マニュアルに沿ってリスク回避をこころがけ、利用者の安全確保を行った。

(6) 地域との連携

- ・ 地域包括支援センターとの連携を図り、地域の利用者が住み慣れた地区で、自宅での生活が維持出来る様に支援した。
- ・ 地域ケア会議に参加し、地域の利用者情報の共有を図った。
- ・ 各介護保険事業者との連携を図り、信頼関係を構築した。利用者がより安心出来る地域ネットワークの構築に積極的に参加した。